

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業「市民の学習成果の発表の場提供事業」

「はじめてのピアノ教室」を開催しました。

平成27年10月29日（木）から11月19日（木）までの期間、多田圭子さんを講師に迎え、「はじめてのピアノ教室」（全4回）を開催しました。「はじめてのピアノ教室」は、全く楽器経験のない方を対象にした4回の講座です。



1回目は、ピアノの歴史や音楽用語の知識、楽譜の読み方のルール、ピアノを弾く時の姿勢や指や腕の使い方を教わりました。その後「喜びの歌」の右手のメロディーをドレミで歌い、1・2段目の指の動かし方を紙鍵盤で練習しました。

2回目は、右手の練習〈ドレミファソ〉を一人ずつピアノで弾きました。その後、テキストの曲をドレミで歌い、楽語や音符、リズムについて教わった後、前回弾いた「喜びの歌」の1・2段目のおさらいをして、3段目に挑戦しました。

3回目は、「喜びの歌」の右手を通して練習。次はいよいよ左手です。へ音記号の楽譜の読み方を習った後、一人ずつピアノで練習しました。

4回目は、最終回です。今までの練習の成果を一人ずつピアノで発表しました。先生と一緒に演奏する人、一人で両手で演奏する人、左手の伴奏形を工夫して演奏する人など一人一人の個性が光るミニコンサートになりました。その後、全員で歌を歌って4回のレッスンは終了しました。



最後に、先生から上手になるためには「気後れしないで、とにかくたくさん弾く」、そしてピアノを弾くことを通して「何気なく聞いていた音楽に耳が敏感になる」「自分だけの楽しみの時間を持つことができる」など、今までとは少し違う素敵な生活になるというアドバイスをいただきました。

4回の講座で学んだことを応用して、楽器に触れる時間を楽しみながらピアノのレパートリーを増やすとともに、より豊かな毎日を過ごせるきっかけになったと思います。

